



Tokyo Gakugei University
International Secondary School

東京学芸大学附属 国際中等教育学校

2026 School Guide

Educational objectives

TGUISSの目指す教育

- 1 世界に生きる学力と教養を身につけよう。
The school will help students to acquire global knowledge.
- 2 多様な表現力やコミュニケーション能力を育もう。
The school will help students to strengthen communication skills.
- 3 知・心・身体のバランスを大切に成長し続けよう。
The school will help students to mature in knowledge, mind and body.
- 4 多様性の意義を認識するとともに、
寛容性・耐性(トレランス)を育もう。
The school will help students to appreciate diversity and foster acceptance, empathy, tolerance and respect.

Ability to grow

育てたい資質能力

ISS では様々な教育活動を通じて
以下の 4 つの資質を持った生徒を育てます。

- 1 現代的な課題を読み解く力
- 2 対話を通じて人との関係性を作り出す力
- 3 知識とイメージを自分で再構築する力
- 4 異文化への寛容性・耐性

TGUISS

Tokyo Gakugei University
International Secondary School

特色ある 教育活動

探究的・主体的な学習

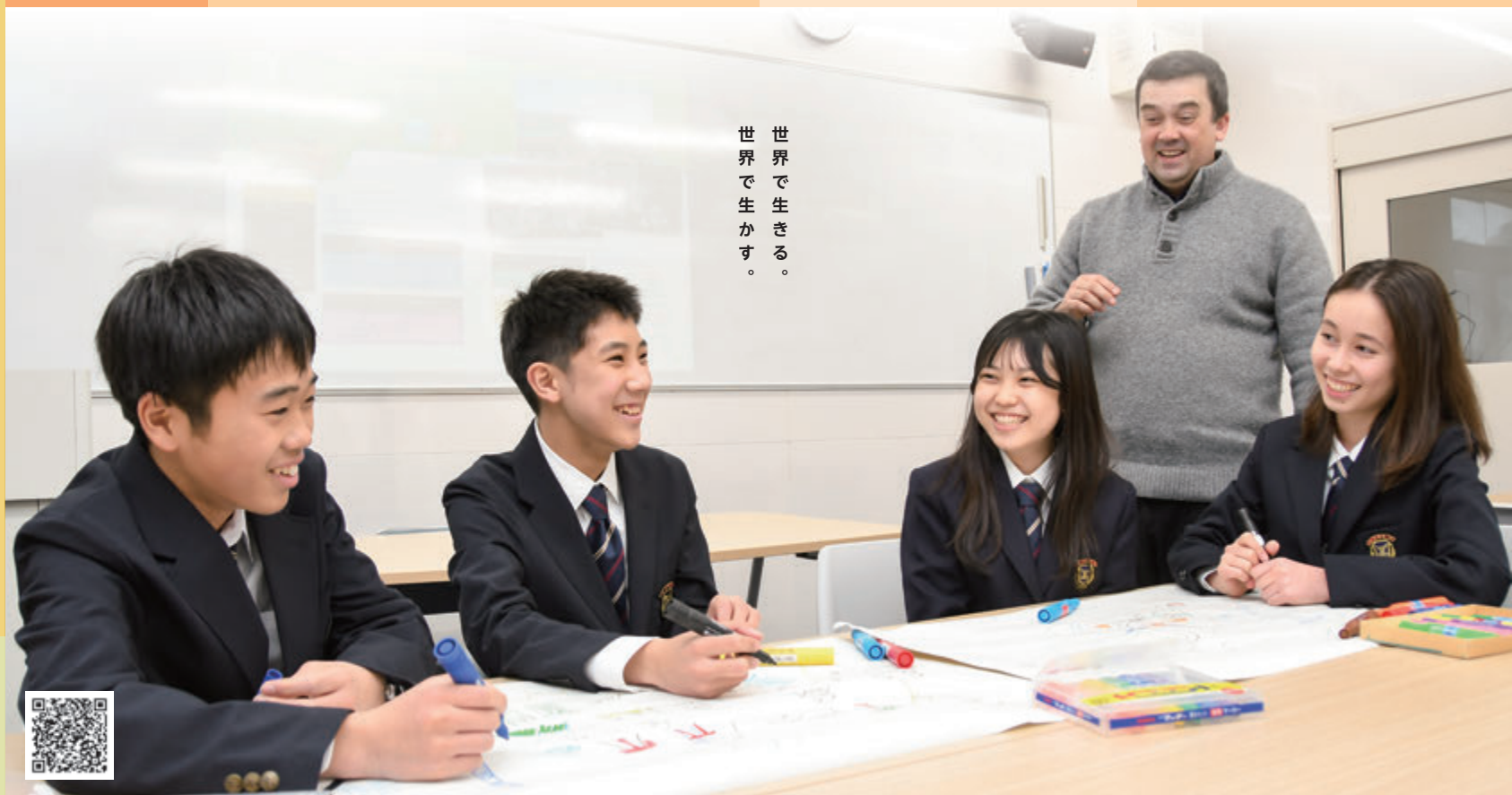
本校は1年生から4年生まで、全ての生徒が国際バカロレア (IB) Middle Years Programme のカリキュラムに則り学習活動を行っています。生徒が主役となり、自ら調べ、考え、話し合い、自らの理解や意見を導き出しています。また、後期課程では「総合的な探究の時間」や「理数探究」の時間を活用し、授業や課外活動を通して関心を持ったテーマについて、自ら理解を深め、研究し、最終的には自らの研究成果を外部へ発信します。

多様で充実した英語の授業

前期課程では英語の授業が週4時間、英語「で」様々な現代課題について学ぶLEの時間が週2時間あります。後期課程では、週最大8時間の英語の授業に加え、第2外国語や英語以外の科目のイマージョンの授業など、選択肢は様々です。

進路に応じた幅広い選択肢

後期課程では各々の進路に合わせて授業を組み合わせることが可能です。英語で授業を行うイマージョン科目、英語以外の外国語、理数探究や学校設定教科「国際」等、将来のビジョンに合わせた選択が可能です。



世界で生きる。
世界で生かす。



課題に向き合い問題解決のできる力を育もう

本校は2007年創立の若さあふれる男女共学の中等教育学校です。「グローバルな視野の育成」「多文化共生の教育」「多様性と共通の価値・ルールの確立」「社会参加を通じた市民性の育成」などを教育理念とし、中高6年間の一貫したカリキュラムを実施しています。また本校は、国際バカロレアワールドスクール、スーパーサイエンスハイスクール、ユネスコスクールなどの「顔」もあります。本校の教育は、これらのリソースを効果的に組み合わせ、世界で生き、世界に貢献できる次世代のリーダーを育てています。今までに経験したこともない課題が次々と国境を越えて発現する現代社会にあって、課題の本質を見極め、しっかりと問題解決のできる子供たちを育てたい。それが本校の使命です。

生徒人数

▶ 約720人

帰国生の割合

▶ 約40%

学年・
クラスの人数

▶ 1学年
約120人
(1クラス約30名)

帰国生が来る
国と地域の数

▶ 50以上

東京学芸大学
附属国際中等教育学校

校長 雨宮 真一



IB World School 国公立学校初のIB認定校

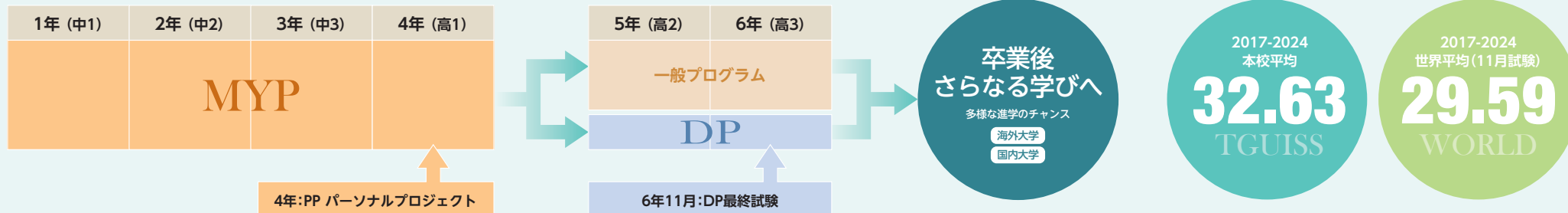


IBのMYP(中等教育プログラム)とDP(ディプロマプログラム)の認定校。中等教育学校として6年一貫教育を実践

IB(International Baccalaureate 国際バカロレア)とは？

国際バカロレア機構(IBO)が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解し、そのことに対処できる力、そして未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けた生徒の育成を目的としています。

DP生の実績IBディプロマスコア平均点
(45点満点)



MYP (Middle Years Programme)

1～4年の4年間 全生徒が対象

8つの教科群

- 言語と文学(国語) ●言語の習得(外国語) ●個人と社会(社会/地理歴史・公民) ●理科(理科)
- 数学(数学) ●芸術(音楽・美術/芸術) ●保健体育(保健体育) ●デザイン(技術・家庭/情報)

Social Action活動の例



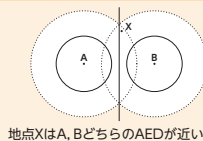
MYPのカリキュラムの一領域である社会貢献活動を本校では「Social Action」と称し、生徒の積極的な行動を促しています。生徒は地域・環境・難病など、様々な社会課題に関わる NPO・NGO・ボランティア団体のイベントにスタッフボランティアとして参加したり、自分たちでボランティア活動を企画したりすることで、自分たち自身も学びながら多くの活動を支援しています。

MYPのユニット例

【数学の単元】2年生:図形領域(垂直二等分線の作図)

<探究テーマ> AEDで救える命を増やそう

AEDは何m間隔で設置すればよいでしょうか。また、どのAEDを取りに行くとよいかわかる「AEDマップ」をつくりましょう。



地点XはA、BどちらのAEDに近いの？
円の交点を結んだ直線が境界線だね！



AEDマップ(ボロノイ図)
1台のAEDがカバーする範囲がわかる！

【主な活動内容】

- 「3分以内に取りに行って戻ってくる」という条件を設定し、AEDの適切な設置間隔を決める。
- 身近な地域のAEDが300m間隔で設置されているかを、地図上に円を描く方法を見いだして考察する。
- 住人の年齢構成などのデータを読み取りAEDが必要な場所の条件を考える。
- どのAEDを取りに行くとよいかわかる「AEDマップ」(ボロノイ図)をつくる。

教科内容と実社会との関連性を重視

実社会の問題を数学的に解決したり判断したりする力の育成を目指す授業



AEDを中心に円を描く方法について説明する生徒



DP (Diploma Programme)

5～6年の2年間 各学年約15名

6教科7科目 3科目を英語で、3科目を日本語で学びます。

- 言語と文学【日本語A:文学HL】【English A: Language and literature HL】
- 言語の習得【English B HL】 ●個人と社会【歴史HL】 ●理科【化学SL】
- 数学【Mathematics: Applications and interpretation SL】 ●芸術【Visual arts SL】

HL=Higher level 上級レベル
SL=Standard level 標準レベル

※【English A: Language and literature HL】と【English B HL】はどちらかの選択になります。
※ 文系に特化したコースです。

3つのコア

TOK
(Theory of knowledge)
知の理論

EE
(Extended essay)
課題論文

CAS
(Creativity, activity and service)
創造性・活動・奉仕

少人数でチャレンジに満ちた専門性の高い学習を行い、IB ディプロマ資格を取得します。

探究活動が自らできる生徒を育成するシステム

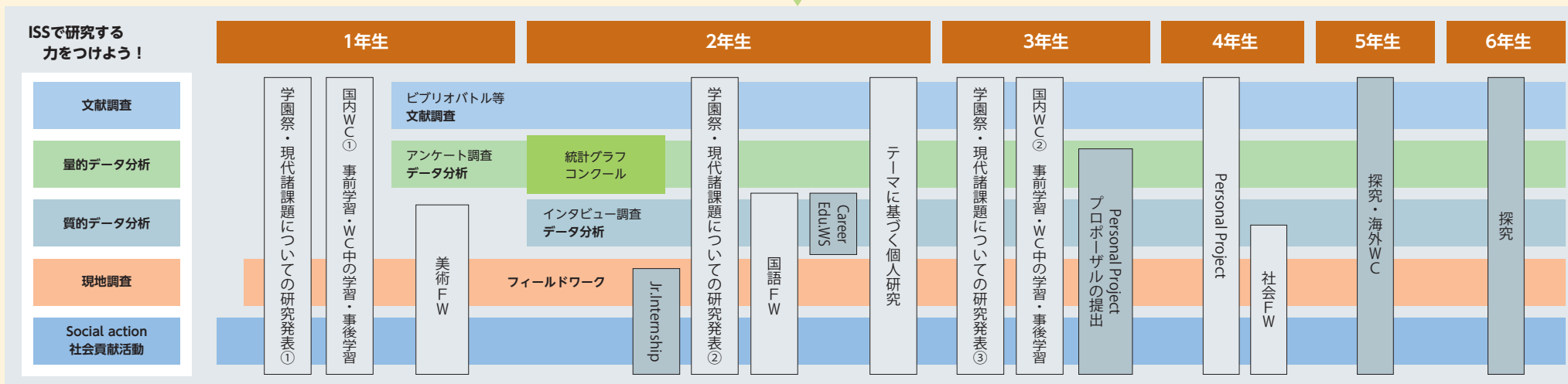


生徒自らが研究を行えるようになるために必要な能力。それを身につけるための環境をご用意しております。

Input 【国際教養】視野を広げ、実践力を身につける！

『国際教養』とは、国際社会の中で共生・共存できる力を育成するために設定された本校独自の学習領域であり、6年間を通じて、各教科の枠を超えた現代的課題を多様な観点から学び、プレゼンテーションやディスカッション運営などのスキルを磨きます。外部の方をお招きして講演会を開催したり、生徒自ら主体的なワークショップを企画、運営したりしながら、視野を広げ、実践力を身につけることができます。

※例年の流れです。変更になる場合があります。



国際教養：3つの柱

国際理解：
自国の文化・他国の文化を含めて、多様な文化・社会の在り方について理解を深める。

人間理解：
社会を支える一員として、学校・地域・国・世界に生きる人々の生き方や社会の在り方について考え、思いやりの心を身につける。

理数探究：
身の回りや世の中の様々な事象を科学的視点からとらえ、社会に活用していく方法について考える。

PP (パーソナルプロジェクト)



パーソナル・プロジェクトは、4年生が取り組むMYPの集大成のプロジェクトです。生徒は、自分で選んだ創造的で革新的なゴールを達成するために、これまで様々な教科で学んだ知見やスキルを活用し、最後に下級生に向けてその内容を発表します。

プロジェクト例：「絵本で解決!〜子供の貧困問題〜」「アボカドの種と変色の関係性」

探究 (「総合的な探究の時間」「理数探究」)



自ら研究課題を見だし、適切な研究方法を実践し、自分自身による考察を通して新たな知見を得て、それを他者と共有することで課題解決に貢献します。後期課程の約2年をかけて研究を進めます。

研究例：「環境心理学と仕掛学から考えるゴミ箱利用者の行動モデルと分別を促進させるゴミ箱の作成」「セルロース系バイオマスからのエタノール製造に適した酵母の探索」

WC (ワークキャンプ)



1年生・3年生は国内で、5年生は海外で宿泊行事(ワークキャンプ)を行います。

FW (フィールドワーク)



各教科の特別学習として、教室の外で、実際に目で見て体験することを目的にフィールドワークに出かけます。

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) の取り組み

2014年度より文部科学省からSSH校に指定されており、2024年度からは第Ⅲ期指定を受け「IBの教育原理を活かした文理融合教育による、科学的コンピテンシーを備えた“Agents of Change”の育成」をテーマとして研究開発に取り組んでいます。現代的な諸課題に正対し、科学的知見および手法を活かした総合知によって挑戦的な変革をもたらすことのできる人材育成を目指し、学際的で探究的な学びや活動を実践しています。

Output 【ISSチャレンジ】身につけたスキルを最終的に生徒自身が成果・結果として発揮！

個人やグループによる独自の研究活動の奨励を目的とした、校内での課題研究コンテストです。全生徒が任意で参加でき、1年間かけて取り組みます。毎年、ユニークな研究がたくさん行われています。

ISS年間予定

4月 オリエンテーション

9月 スクールフェスティバルでポスター展示

5月 研究計画提出

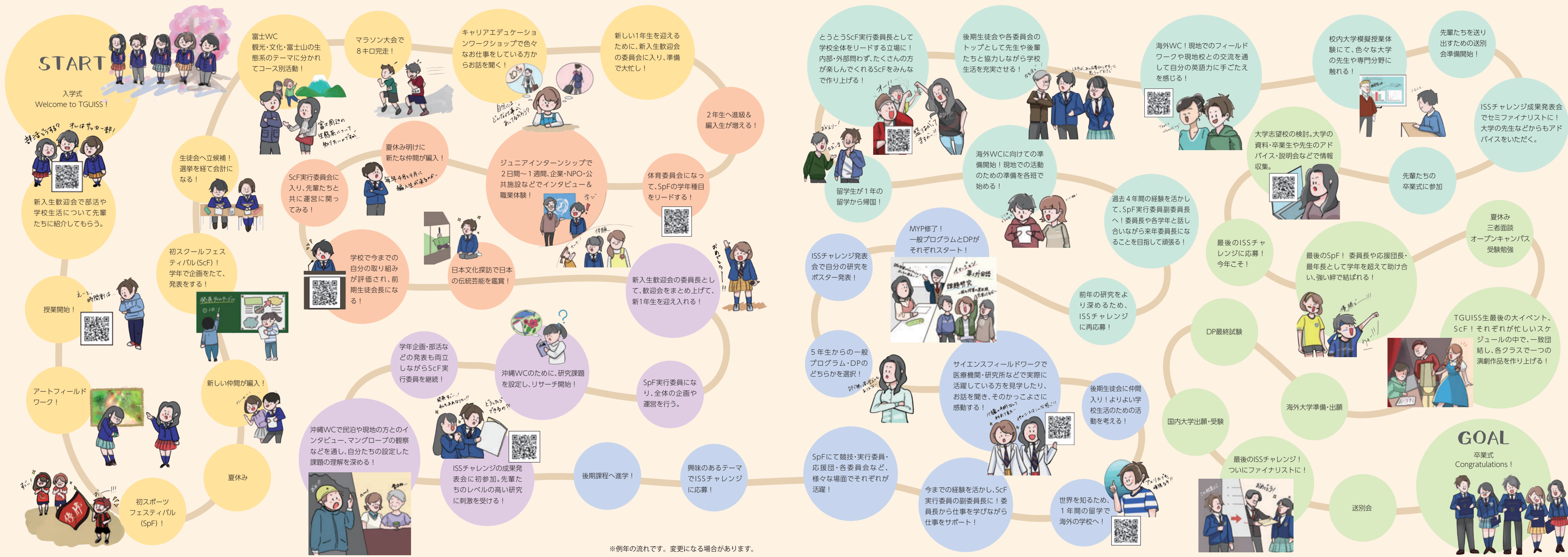
1月 研究論文提出

9月 研究経過報告

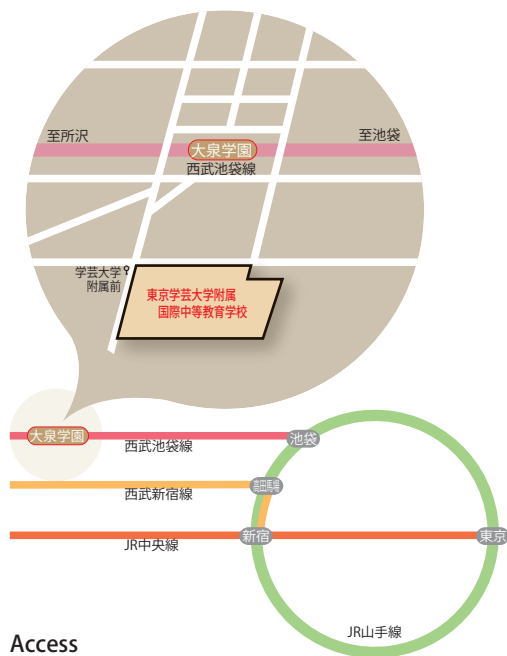
2月 審査および発表会

SGH (スーパーグローバルハイスクール) の取り組みから SGH ネットワークへ

2015年度より2019年度までの5年間、SGHに指定され「組織力」「対話力」「実行力」をキーワードとして社会課題に対する解決力やコミュニケーション能力の育成に取り組みました。生徒の学びは多様な形で社会に発信することにつながっています。現在はSGHネットワーク参加校として継続的に探究的な学びや活動に取り組んでいます。



※例年の流れです。変更になる場合があります。



Access

電車 西武池袋線「大泉学園」駅下車 徒歩8分

バス停 ○「学芸大附属前」下車

- ・吉祥寺駅(武蔵関経由)より「新座栄」行・「大泉学園駅南口」行
- ・西荻窪駅(上石神井経由)より「大泉学園駅南口」行
- ・上石神井駅より「長久保」行
- ・阿佐ヶ谷駅より「長久保」行



2025 (令和 7 年度)

生徒募集に関する学校説明会日程

第1回 7月12日(土)

第2回 10月11日(土)



本校の合格実績は
こちらへ

変更の可能性がございますので、

必ず詳細は本校ウェブサイトをご確認ください。

海外教育相談者対象の相談は、

メールまたは電話で随時受け付けております。

2026 年度 入学選抜検査について

入試の種類	第1学年 4月入学選抜検査		編入入学選抜検査	
	A方式	B方式	4月編入学	9月編入学
募集人数	約30名	約30名	第2～6学年 各学年数名	第1～5学年 各学年数名
審査内容	書類審査 外国語作文 ^{※1} 基礎日本語作文 面接(集団面接)	書類審査 適性検査Ⅰ 適性検査Ⅱ 面接(集団面接)	書類審査 外国語作文 ^{※1} 基礎日本語作文 面接(集団面接)	
応募資格	①該当学年相当の年齢である者 ②次のaかbのいずれか a 国内小学校を卒業する見込みの者 b 日本の義務教育6年終了相当の教育を受けた者		①該当学年の年齢である者(第1～3学年) 該当学年以上の年齢である者(第4～6学年) ^{※2} ②帰国後または来日後1年以内(後期課程では4年4月を除いて半年以内)の者 ③海外にある教育機関に在籍していた期間が連続して1年と1日以上のある者	
募集要項公示日	2025年9月12日(金)			2026年4月中旬予定
願書受付	2025年12月23日(火)～2026年1月8日(木) 予定			2026年5月中旬予定
選抜試験	2026年2月3日(火) 予定			2026年6月下旬～7月上旬予定
合格発表	2026年2月6日(金) 予定			2026年7月上旬予定

※1：外国語作文で使用できる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語（簡体・繁体）、韓国・朝鮮語のいずれかです。

※2：後期課程（第4～6学年）への応募資格の詳細については、募集要項をご参照ください。



東京学芸大学附属国際中等教育学校

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

TEL 03-5905-1326 FAX 03-5905-0317

URL <https://www.iss.oizumi-u-gakuhei.ac.jp>

E-mail office@tguiss.jp / admissions@tguiss.jp (入試問い合わせ専用)